



広大な菜の花畑と菜の花畑から採取された「はちみつ」と「なたね油」

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

## 北のなのはな会

### 【安平町】

こだわりの地産地消活動

### はじまりは？

平成19年にバイオ燃料に興味を持った町内の農家数名が集まり勉強会を発足し、再生可能エネルギー資源、観光、特産品として「菜の花」が新たな可能性を秘めていると考え、平成21年に栽培を開始、研究を進めました。

その後、平成22年に「北のなのはな会」を立ち上げ、「あびら菜の花はちみつ」や「畑のしずく（なたねサラダ油）」の商品化を手掛け、現在は「サボン・デ・コルザ（はちみつ入り菜の花石鹸）」等のコスメの発売も手掛けています。

### おもな活動

現在の「北のなのはな会」の活動としては、菜の花関連特産品の開発、菜の花残渣を用いたバイオマス燃料（バイオコークス）利活用の研究、安平町の新たな観光地化を主な取組みとし、食育教育の推進、菜の花関連団体との交流・情報交換を行っております。

また多くの方に安平町の魅力を知ってもらうため、平成29年からあびら観光協会の主催により「菜の花さんぽ」が開催されています。「北のなのはな会」も後援として関わっており、安平町を代表する初夏の景観を広く伝えるために一役買っています。



地域イベント「菜の花さんぽ」の様子

### ここが自慢

#### 【菜の花による地域振興】

地産地消の推進、地元産にこだわり、生産された食材を地域の方に食べていただき、知ってもらいたい思いから、地元小中学校や社会福祉法人などにも商品を提供し、消費拡大へとつなげると共に地域振興のため、各種PR活動を展開しています。

また、あびら観光協会と協力し、菜の花が満開となる時期に合わせて「フォトコンテスト」や「菜の花さんぽ」を開催し、多くの観光客が訪れるようになりました。

今後も新たな地域特産品の製作・販売や再生可能エネルギーとしての利活用の研究に取り組むとともに、安平町の初夏の風物詩として定着し観光資源となることを目指す取組を進めています。



菜の花関連商品

#### 連絡先

代表者名：小西 克典さん／設立：2010年／会員：2名

住所：勇払郡安平町追分美園534番地

電話番号：0145-25-2391

F A X：0145-25-2391

E-mail：kitanonohanakai@ybb.ne.jp

U R L：http://k-nanohana.com/